

インターネット・サーバー

— Powered BLUE 870 VM —

オールインワン・仮想サーバーアプライアンス
Web/DNS/Mail/ftp
Private CA / Reverse Proxy
OTP (ワンタイムパスワード)

Powered BLUE 870 VM の特徴

インターネットサーバー機能

Web/Mail/DNS/FTP/ サーバー機能を1台で運用

RedHat / CentOS 7.x (64bit) に対応

セキュリティ機能

SNI対応(常時SSL化)

HSTS対応(httpsの強制通信)

SELinux対応(セキュアOS)

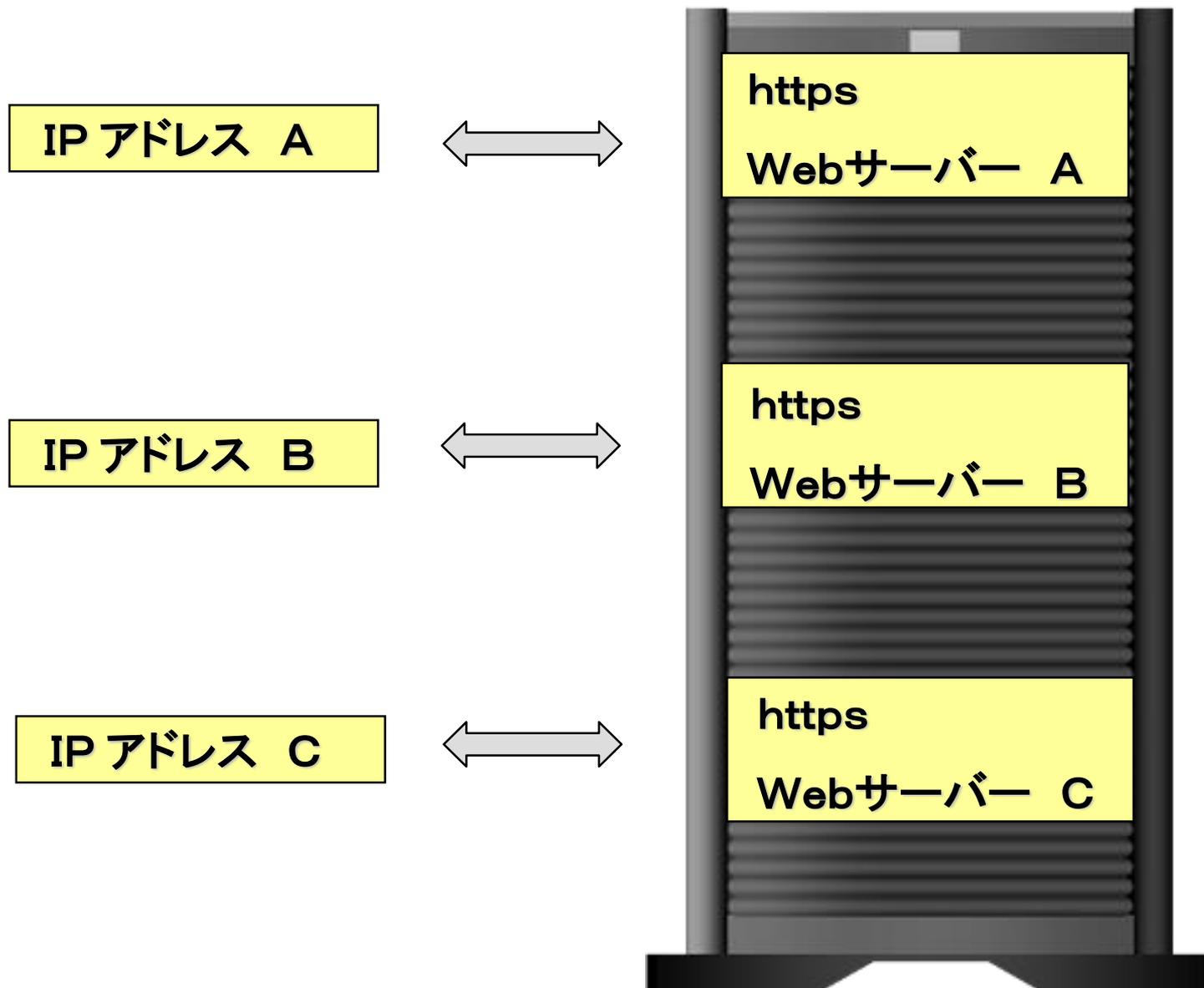
仮想・クラウド対応

VMWare / Hyper-V 対応

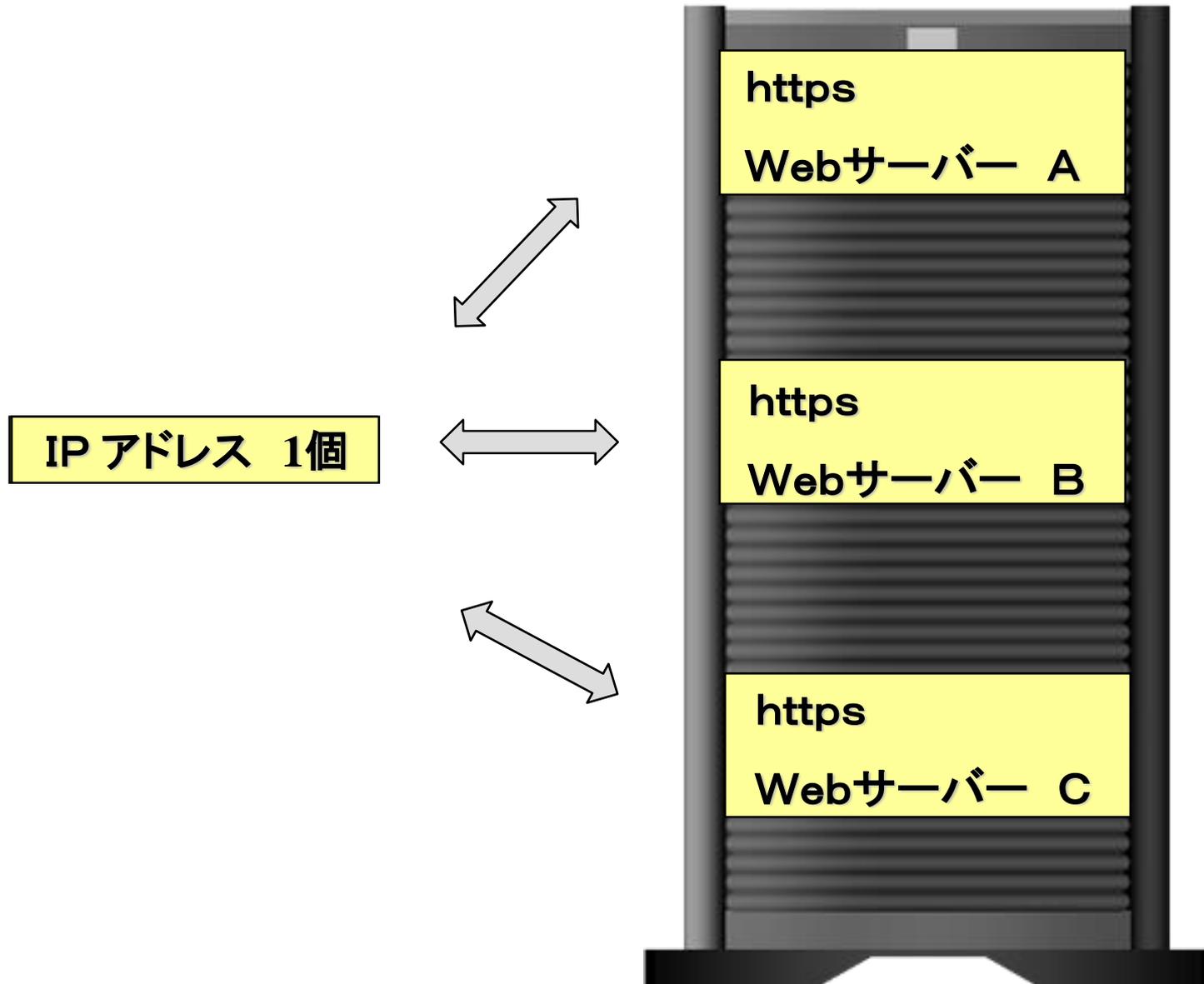
クラウド 対応

VPS 対応

IPアドレス と SSL化対応Webサーバー



SNI対応 「Powered BLUE 870」



ソフトウェア機能 (標準 / フリープラグイン)

項目	有無	内容
http /https Server	○	複数サイトの運用可能
DNS Server	○	
SMTP/SMTPTS/POP/POPS/IMAP/IMAPS	○	Postfix・SMTP Auth・Submission port
メールの中継設定	○	ドメイン・アドレスごとの配送設定可能
SNMP / Firewall 機能 / SPF レコード	○	
SNI	○	IPアドレス1個で全WebサイトのSSL化
HSTS	○	httpアクセスをhttps通信への切り替え
仮想サイト管理者での設定	○	仮想サイトごとに権限移譲可能
OSアップデート	○	スケジュールアップデート 対応
CMS	○	WordPress(フリープラグイン)
WebMail	○	RoundCube(フリープラグイン)
SSLサーバー証明書	○	Let's Encrypt (フリープラグイン)

ソフトウェア機能

項目	有無	内容
http /https Server	○	複数サイトの運用可能
DNS Server	○	
SMTP/SMTPTS/POP/POPS/IMAP/IMAPS	○	Postfix・SMTP Auth・Submission port
SNMP / Firewall 機能 / SPF レコード	○	
FTP / anonymous FTP	○	
メールの中継設定	○	ドメイン・アドレスごとの配送設定可能
仮想サイト管理者での設定	○	仮想サイトごとに権限移譲可能
OSアップデート	○	スケジュールアップデート 対応
メール添付ファイルZIP暗号化	△	オプション
メール添付ファイルWebダウンロード	△	オプション
大容量ファイルの送受信	△	オプション
Private CA機能	△	オプション
リバースプロキシ	△	オプション
ワンタイムパスワード	△	オプション

動作環境

OS	RedHat 7.x (64bit) CentOS 7.x (64bit)
仮想環境	VMWareESXi 5.1 / 5.5 / 6.0 / 6.5 Hyper-V 7.X
クラウド環境	AWS / EC2 Azure / Microsoft FUJITSU Cloud Service for OSS / 富士通 VPS / NTTPC (WebArena) VPS / GMOクラウド(ALTUS)
スペック	1 Core(min) / 512MB mem (min) / 20GB HDD (min) / Ethernet x 1

管理画面

The screenshot shows the management interface for Powered BLUE. The top navigation bar includes 'サーバの管理', 'サイトの管理', 'アップデート', '個人プロフィール', and 'ライセンス管理'. The left sidebar lists various services: 'サーバの管理者', 'ネットワークサービス', 'ウェブ', 'FTP', '電子メール', 'DNS', 'シェル', 'データベース', 'セキュリティ', 'システムの設定', '保守', '利用状況', 'アクティブモニタ', 'オプション', and 'サポート情報'. The main content area is titled 'ウェブの設定' and has tabs for '基本', 'セキュリティ', and '詳細'. Under the 'セキュリティ' tab, there is a 'セキュリティ設定' section with the following table:

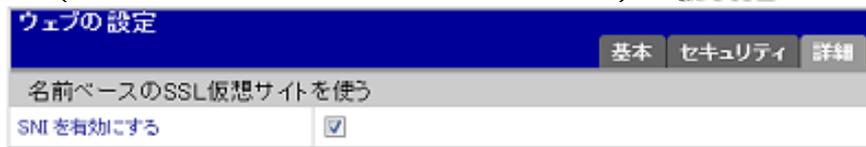
バージョン情報を公開しない	<input checked="" type="checkbox"/>
PHPヘッダを応答しない	<input checked="" type="checkbox"/>
HTTP Traceメソッドを無効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
SSLセキュアレベル	TLS1.2以上を使用する(強レベル) ▼

Below the table is a '保存' (Save) button. At the bottom of the page, a message reads: '? セキュリティに関する設定を行います。' (Security settings will be performed.)

- 1) 日本語・英語の2か国語対応
- 2) パッチなどの自動アップデート機能

常時SSL化対応 セキュリティの強化

■ SNI (Server Name Indication) 機能



The screenshot shows the 'ウェブの設定' (Web Settings) page with tabs for '基本' (Basic), 'セキュリティ' (Security), and '詳細' (Advanced). Under the 'セキュリティ' tab, the option '名前ベースのSSL仮想サイトを使う' (Use name-based SSL virtual sites) is selected. Below it, the checkbox 'SNIを有効にする' (Enable SNI) is checked.

IPアドレス1個で、全WebサイトのSSL化に対応

■ Webバージョンの非公開やSSLセキュアレベルの指定機能



The screenshot shows the 'ウェブの設定' (Web Settings) page with tabs for '基本' (Basic), 'セキュリティ' (Security), and '詳細' (Advanced). Under the 'セキュリティ' tab, the 'セキュリティ設定' (Security Settings) section is visible. The following options are checked: 'バージョン情報を公開しない' (Do not publish version information), 'PHPヘッダを応答しない' (Do not respond to PHP headers), and 'HTTP Traceメソッドを無効にする' (Disable HTTP Trace method). The 'SSLセキュアレベル' (SSL Secure Level) is set to 'TLS1.2以上を使用する' (Use TLS1.2 or higher).

■ HSTS (HTTP Strict Transport Security)対応

httpでアクセスを受けると、次回以降はhttpsでの接続に切り替えて、通信経路の安全を確保する機能

■ SELinux対応(セキュアOS)



The screenshot shows the 'SELinuxの設定' (SELinux Settings) page with tabs for '基本' (Basic) and '詳細' (Advanced). The checkbox 'SELinuxを有効にする' (Enable SELinux) is checked.

ひとり情室対応 簡単運用

システムの動作状況 - 概要	
4 エントリ	
▼ コンポーネント名	▼ 詳細
● CPU の使用状況	🔍
● ディスクの使用状況	🔍
● ネットワークの状態	🔍
● メモリの使用状況	🔍

サービスの動作状況 - 概要	
8 エントリ	
▼ コンポーネント名	▼ 詳細
● DNS サーバ	🔍
● FTP サーバ	🔍
○ SNMP サーバ	🔍
● Telnet サーバ	🔍
● ウェブサーバ	🔍
● サーバデスクトップ	🔍
● サーバ・ライセンス	🔍
● 電子メールサーバ	🔍

その他の動作状況 - 概要	
2 エントリ	
▼ コンポーネント名	▼ 詳細
● アンチウイルス・ゲートウェイ	🔍
● 電子メールプラス	🔍

色と意味: ○ 情報がないか、監視が無効に設定されています。

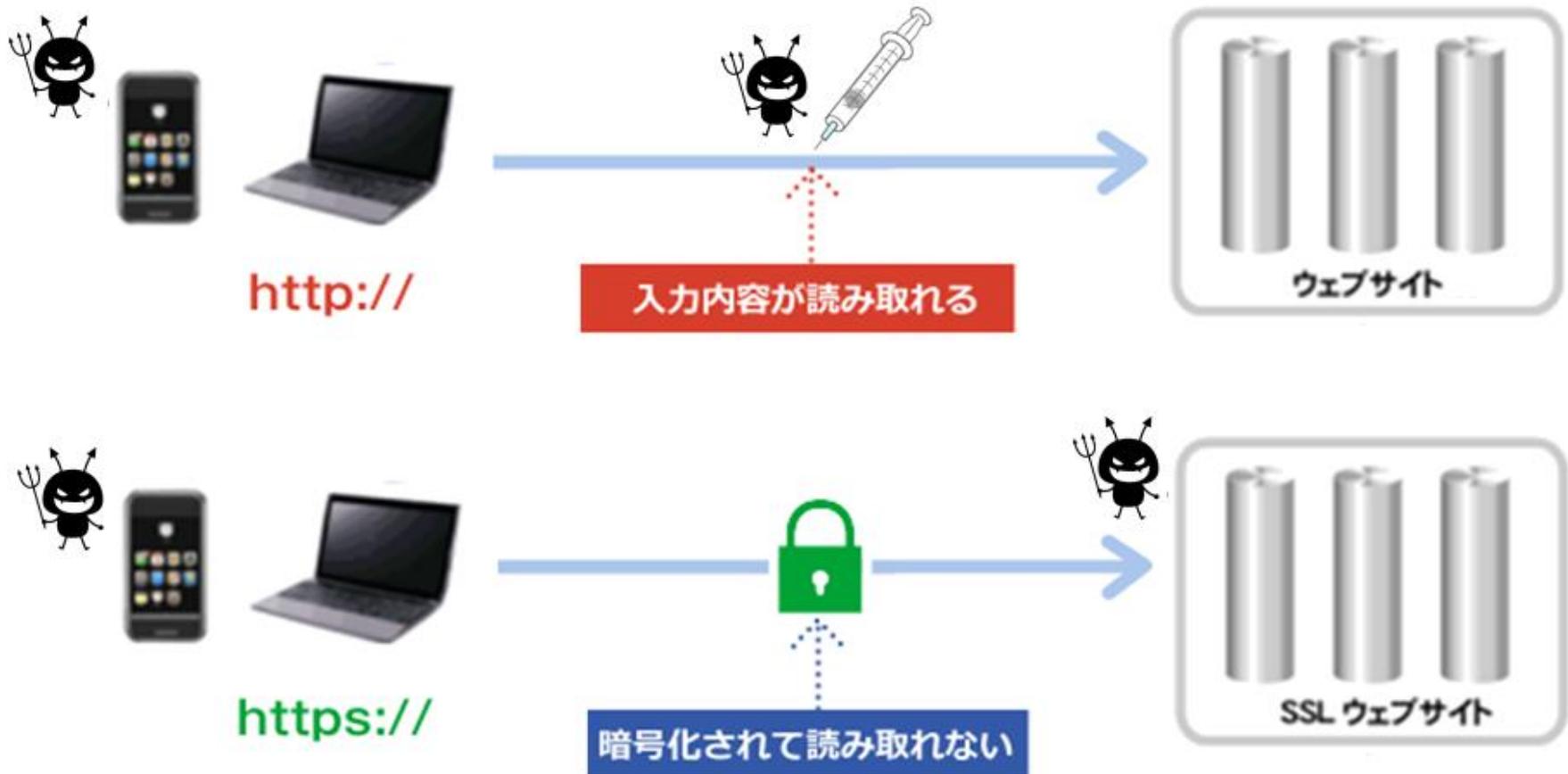
● 正常に動作中

● 問題発生

● 深刻な問題発生

サーバーのモニタリング&サービスの自動再起動

通信経路のSSL暗号化 とWebサーバー

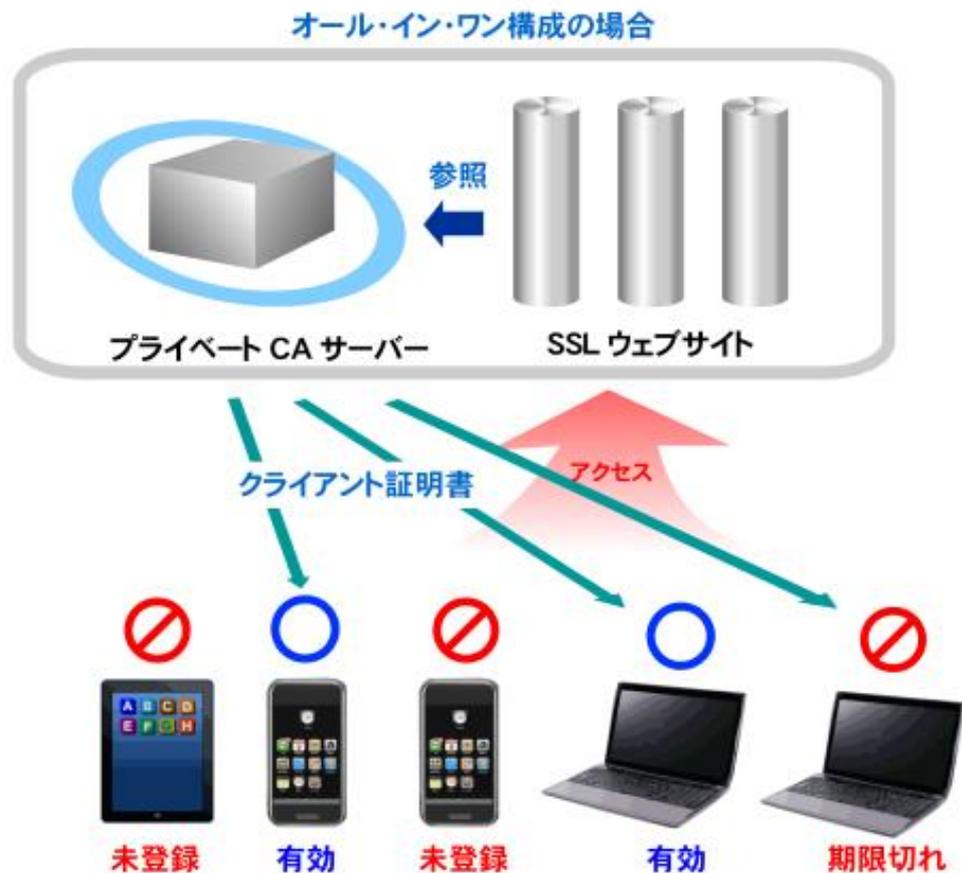


「SSLクライアント認証」での Webアクセス



「証明書の無いユーザー」は Webアクセスできません

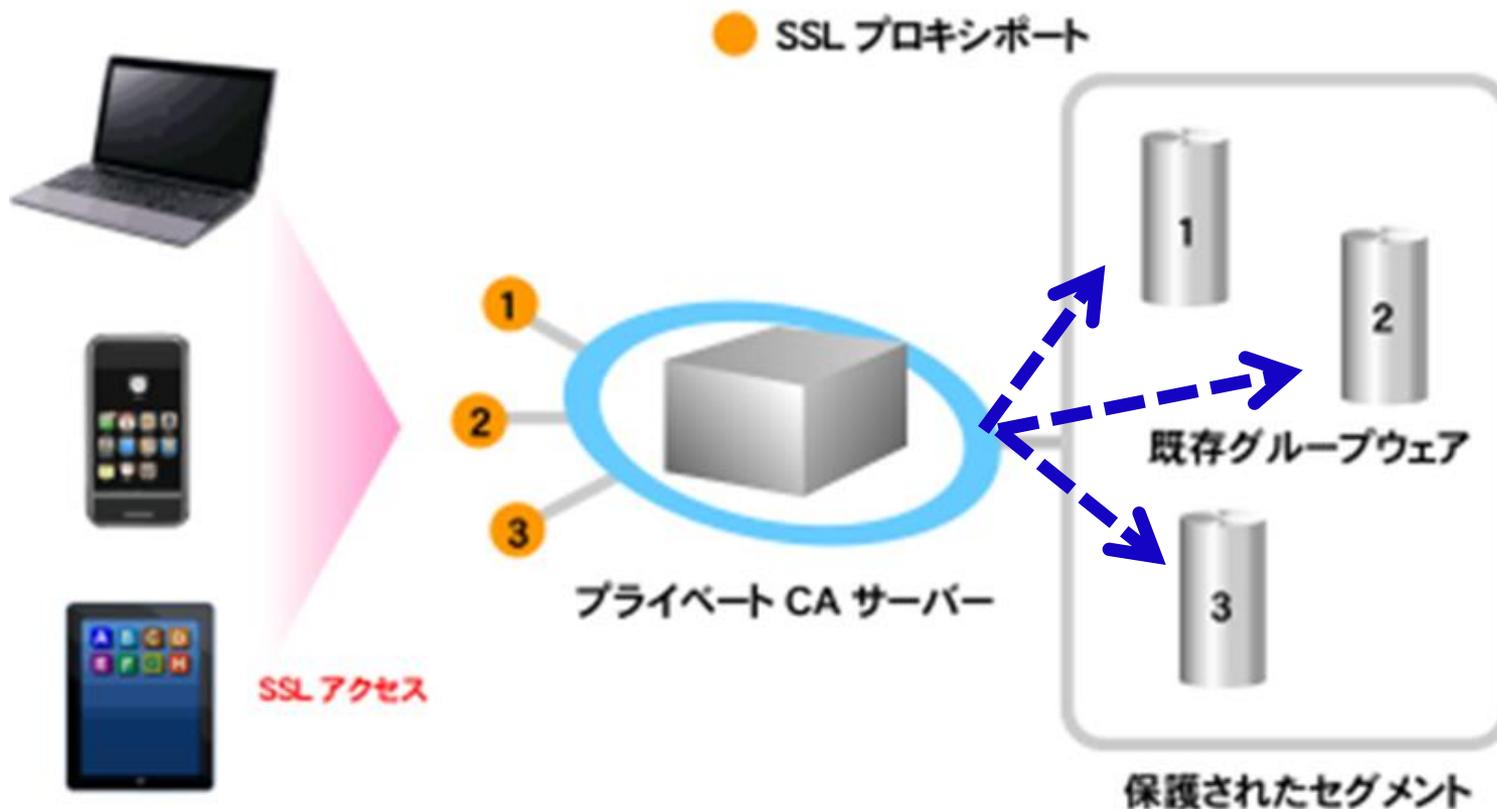
Private CA SSLクライアント認証（オールインワン運用）



1) Webへのアクセス時

SSLクライアント証明書のあるユーザーにアクセスを限定させる

プライベート CA + リバースプロキシ



SSL リバースプロキシをオール・イン・ワンで提供可能。

■ 既存Webサーバー連携

■ CA + リバースプロキシでの運用に対応

リバースプロキシ 設定例

リバースプロキシ設定のリスト - reverse-no1.mubit.com			
ローカルパスの追加			6 エントリ
ローカルパス/SSLポート ▼	リモート URL	オプション	操作
ローカルパス: /	http://owncloud-mars.mubit.jp/owncloud/		 
ローカルパス: /fileblog/	http://demo.teppinet/fileblog/		 
ローカルパス: /mubit/	http://220.110.17.99/		 
ローカルパス: /proself/	https://proself.fpu.ac.jp/proself/		 
ローカルパス: /res/	http://demo.teppinet/res/		 
ローカルパス: /webmail/	http://roundcube-mars.mubit.jp/webmail/		 

 変更を適用する

SSLクライアント認証例 スマートフォン



証明書 有効



証明書 なし・失効

SSLクライアント認証例

■ グループウェア・Webメール

- サイボウズ
- デスクネッツ
- Active! mail
- RoundCube
- NIコラボスマート
- Aipo

■ ワークフロー

- X-point
- 楽々Workflow
- NIコラボスマート
- eValue NS
- Power egg
- wawaOffice
- NTTデータ イントラマート ワークフロー

■ オンラインストレージ

- FileBlog
- Proself
- ownCloud

■ 他

- WordPress
- Zabbix
- ホームページ

Webアクセス時のワンタイムパスワード認証



ワンタイムパスワード & ID/パスワードの
2要素認証機能付属のWebサーバーを簡単に構築 / 運用

ワンタイムパスワードユーザー管理

ディレクトリ設定の新增追加 - test-otp2.mubit.com

パス名	/
認証を有効にする	<input checked="" type="checkbox"/> ワンタイムパスワード認証を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> SSL接続を強制する
認証グループ	ローカルユーザ

[保存](#) [キャンセル](#)

ワンタイムパスワード認証設定 - suzuki

共有鍵とワンタイムパスワード

共有鍵 [文字列およびQRコードで表示する](#)

ワンタイムパスワード [答えを表示する](#)

[リセット](#)



- ワンタイムパスワードユーザーの一括登録
- ユーザーが自分のQRコードを管理可能
- スマフォ端末の機種変更をした場合の対応も簡単
- PCから利用の場合のコードの発行にも対応

ワンタイムパスワード認証 クライアント用のソフト



- Google Authenticator (iOS/Android対応)
- Authy (iOS/Android/Windows/Mac/Linux対応)
- iiJSmartkey (iOS/Android対応)
- WinAuth (Windows対応)

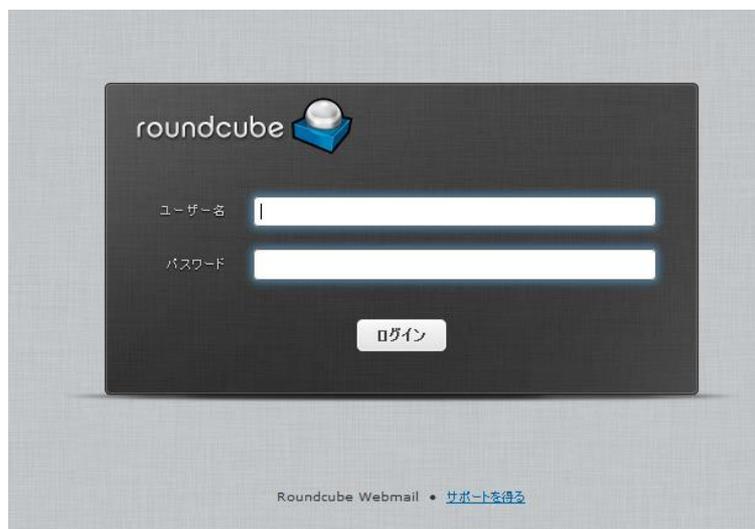
SSLサーバー証明書 Let's Encrypt (フリープラグイン)



Let's Encrypt フリーSSLサーバ証明書 - sample.mubit.tv	
	基本 詳細 ログ
サイト管理を許可する	<input type="checkbox"/>
自動更新	<input checked="" type="checkbox"/>
証明書情報	
管理用電子メール	
ドメイン	
状況	webServerIsDisabledNow
フリープラグインの情報	
URL	https://letsencrypt.org/

SSLサーバー証明書の自動更新対応

WebMail roundcube (フリープラグイン)

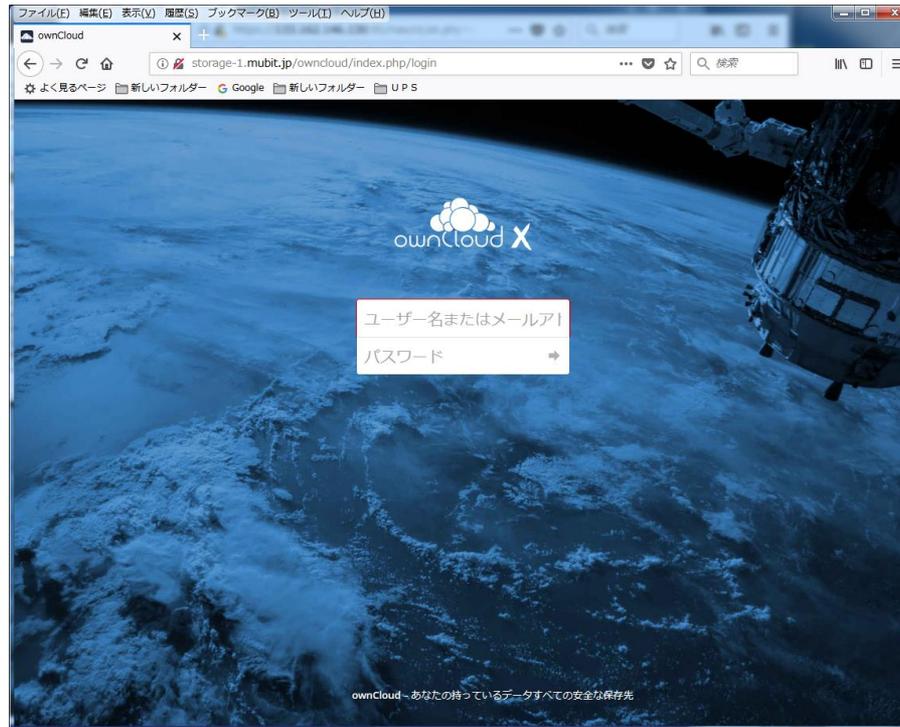


ウェブメール設定 (Roundcube)	
	基本 詳細 サーバ設定
ウェブメールを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
データベース	データベースはアクティブです。
フリープラグイン情報	
URL	http://roundcube.net
説明	ラウンドキューブ(Roundcube)ウェブメールは、アプリケーションのようなユーザ・インタフェースを備えた多言語対応のIMAPクライアントです。MIMEのサポート、アドレス帳、フォルダ操作、メッセージの検索やスベルチェック等のような電子メールクライアントに要求される十分な機能を提供します。
実装について	このウェブメール(Roundcube)は、MySQLデータベースを使用する設定になっています。使用する前にデータベースの初期化が必要です。また、仮想サイトにも対応しており、仮想サイト別に有効・無効の設定が可能です。アクセス可能なURLは、“http[s]://<仮想サイトのURL>/webmail/”のようになります。

● 保存

ownCloud (フリープラグイン)

自社構築・運用出来る オンラインストレージ



ファイル暗号化 ・ Active Dir 連携 ・ 外部ストレージ

SSLクライアント認証 ・ バックアップリストア マルチドメイン

WordPress (フリープラグイン)



ユーザー名またはメールアドレス

パスワード

ログイン状態を保存する

ログイン

パスワードをお忘れですか？

ムービットのブログに戻る

POWERED BLUE

サーバの管理 | サイトの管理 | アップデート | 個人プロフィール | ライセンス管理

仮想サイトのリスト

- www.mubit.tv
- ユーザの管理
- ユーザのリスト
- インポート
- エクスポート
- 一般設定
- サービス
- SSL
- ブログ
- 基本設定
- ブログのリスト**
- 利用状況

ブログのテンプレート編集

ブログのリスト - www.mubit.tv

ブログを追加する | ユーザブログを追加する | 7 エントリ

ブログホーム	ブログのパス	状況	操作
このサイトのディレクトリ	/blog	完了	
このサイトのディレクトリ	/blog-3	完了	
このサイトのディレクトリ	/demo-blog	完了	
このサイトのディレクトリ	/blog-2	完了	
ユーザ 'maeda' のホームディレクトリ	/	完了	
ユーザ 'ootani' のホームディレクトリ	/angels	完了	
ユーザ 'suzuki' のホームディレクトリ	/	完了	

ブログをインストールする

同一サイト内で複数のブログを構築・運用の例

サードパーティ・ソフト



Powered BLUE 870上での
サイボウズ や デスクネッツ などの運用

- マルチドメイン や マルチサイトWeb
WordPress対応
- 複数のWebサイトのSSL化
IP アドレス 1個 で運用
- SSLクライアント認証
- ワンタイムパスワード認証
社員 や 会員 向けの 専用Web ページ

■ Powered BLUE 870 Webアプリケーション

<https://www.mubit.co.jp/sub/products/blue/b870.html>

■ Powered BLUE 870 プライベート CA

<https://www.mubit.co.jp/sub/products/ca/b870-ca.html>

■ Powered BLUE 870 / OTP

<https://www.mubit.co.jp/sub/products/blue/b870-otp.html>